

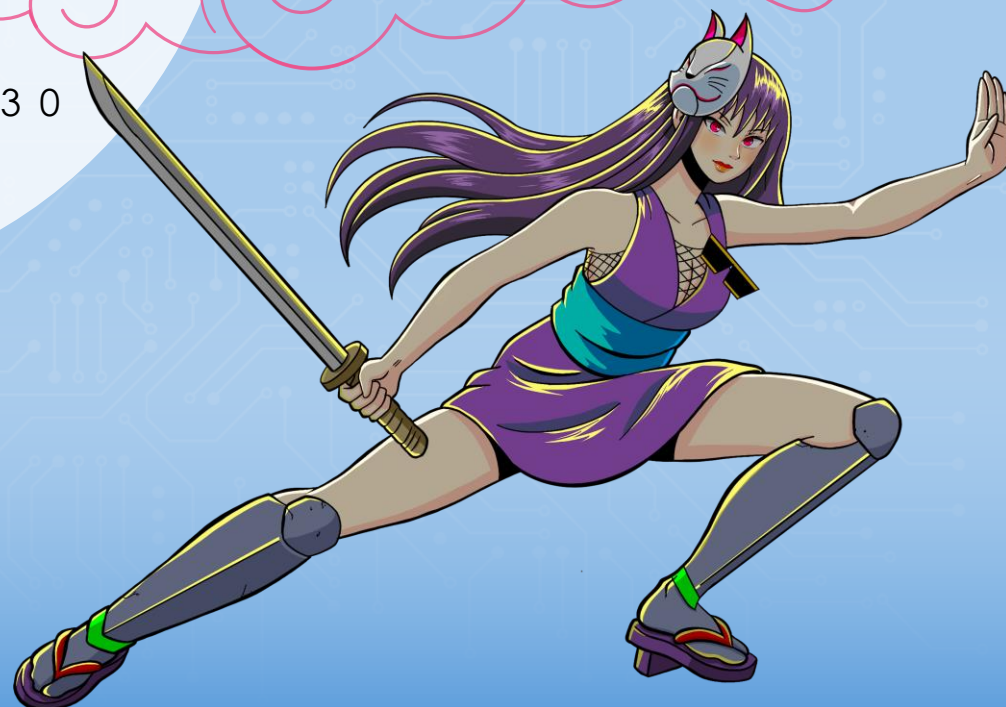
証券コード:4447

株式会社

ピー・ビーシステムズ

会社説明資料

UPDATE 2026/1/30



代表者のプロフィール

富田 和久（とみた かずひさ）

1963年7月17日生（62歳）

略歴

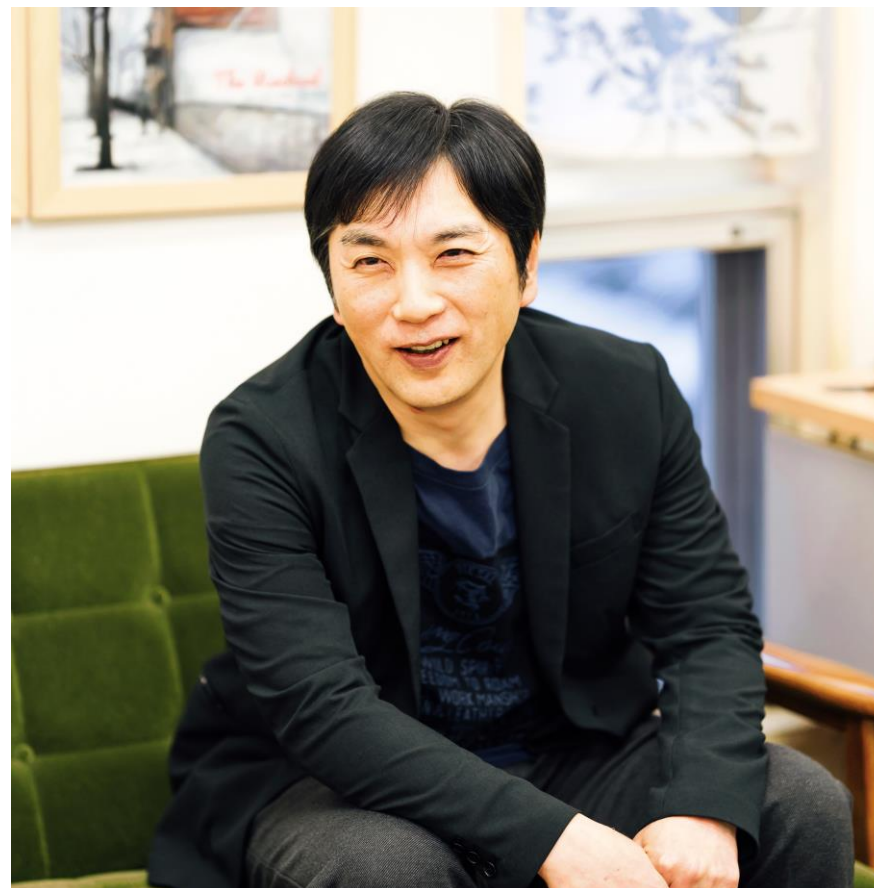
1982年3月 福岡県立福岡高等学校 卒業

1986年3月 九州大学 経済学部 経済工学科 卒業

1986年4月 野村コンピュータシステム(株)
(現(株)野村総合研究所)入社

1992年1月 (株)シティアスコム 入社

1997年2月 当社設立 代表取締役社長(現任)

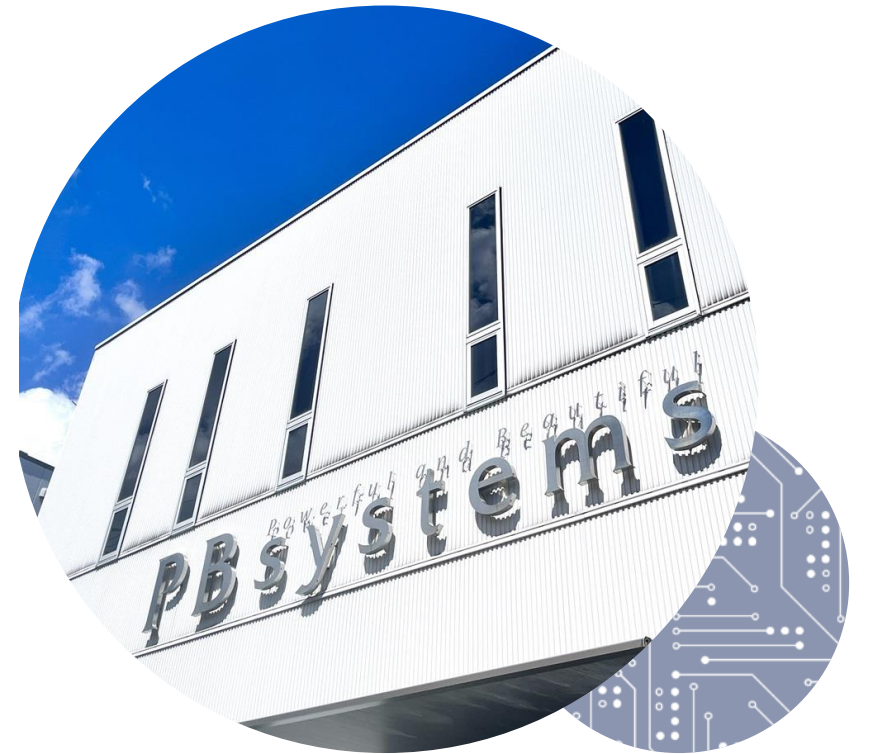


[想い]

方法論の美しさよりも成功の美酒を願う。使う人が大好きになるような感性を込めた業務システム構築が願い。

会社概要

社名	株式会社ピー・ビーシステムズ
代表者	代表取締役社長 富田 和久
本社所在地	福岡市博多区東比恵3丁目3-24
上場取引所	東京証券取引所グロース市場 福岡証券取引所Q-Board市場
銘柄コード	4447
資本金	3億5,026万円 (2025年9月末)
決算期	9月30日(年1回)



何をしている会社なのか？

社名のPBの由来

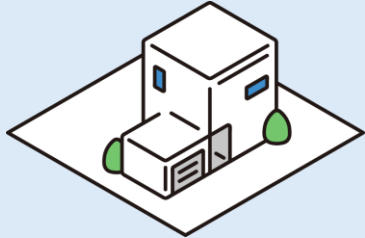
Powerful & **B**eautiful

力強く、美しいシステムを

企業・自治体の業務を安心・安全に利用できる
システム及びその環境を構築する仕事と
独自の映像システムでエンタメや防災、安全対策等に
技術提供する仕事をしている会社です

数字でみるピー・ビーシステムズ

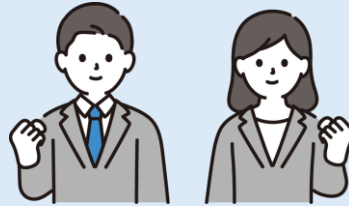
設立



1997年

本年で創業30年目に突入

社員数



73名

取締役、監査役除く

売上高



26億3,400万円

純利益



8,500万円

株主配当



**2025年9月期 1株あたり
10円～12.5円 → 20円**

配当利回り

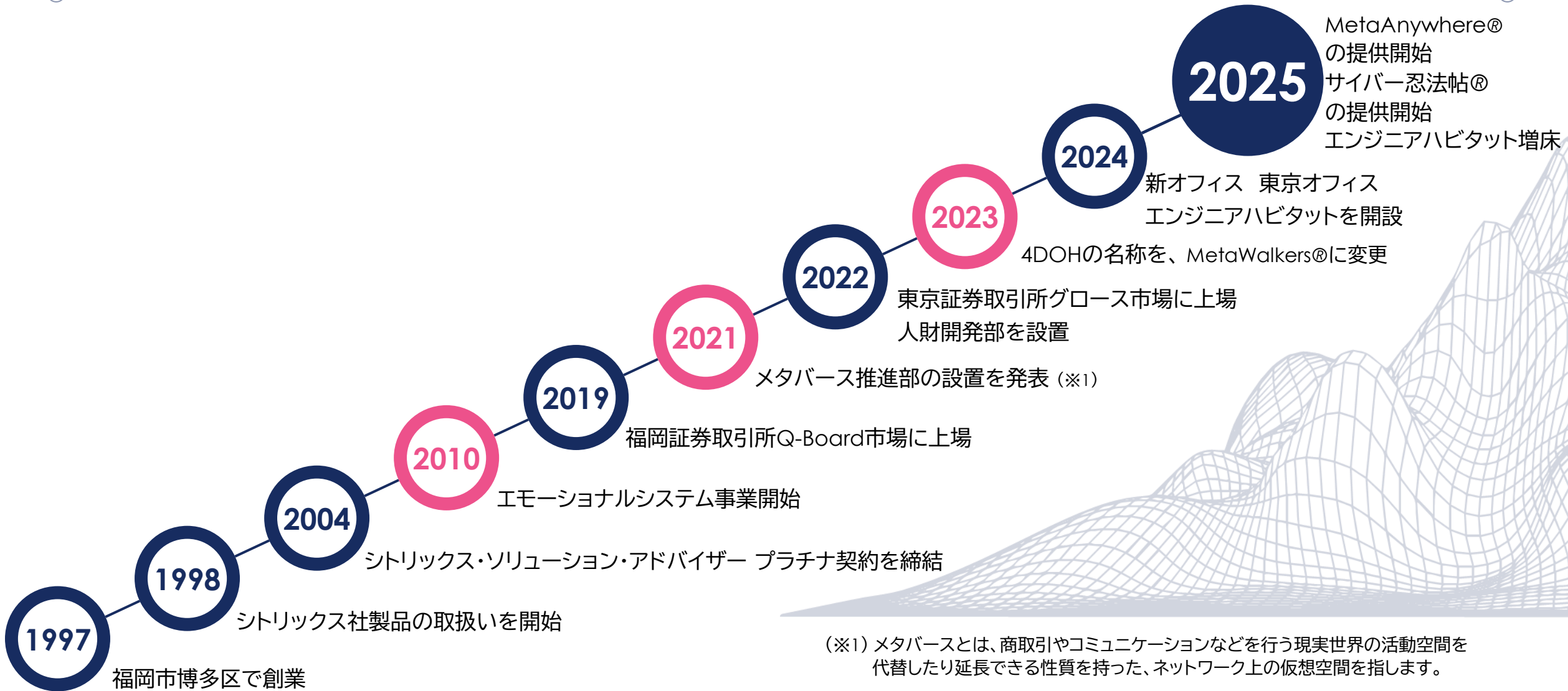


4.00%

2025年1月20日時点の株価で計算

※2025年9月期実績、または2025年9月末時点の数値を記載

沿革



(※1) メタバースとは、商取引やコミュニケーションなどを行う現実世界の活動空間を代替したり延長できる性質を持った、ネットワーク上の仮想空間を指します。

拠点

福岡を中心に3つの拠点で事業を展開中

現本社
2009年9月開設



東京オフィス
2024年1月開設



エンジニアハビタット
2024年2月開設・2025年7月増床



事業内容

当社は企業・公共団体向けに2つの事業を展開しています

セキュアクラウドシステム事業

基幹システムの
ハイブリッドクラウド



サイバーセキュリティ



スマートファクトリー



エモーショナルシステム事業

MetaWalkers®



MetaAnywhere®



企業・自治体向け
メタバース

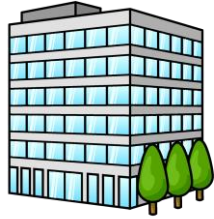


セキュアクラウドシステム事業

基幹システムのハイブリッドクラウド

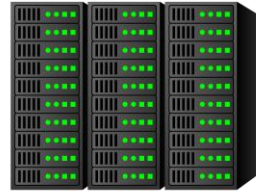
基幹システムとは、基幹業務(販売管理や生産管理など)の効率化を目的とした情報システムのことです
システムを動かす場所は主に3ヶ所あり、それぞれメリットとデメリットがあります

自社内(プライベート)



- **メリット**
 - ・セキュリティとコンプライアンスを自社内で完結可能
 - ・カスタマイズ性が高い
 - ・外部ネットワークの障害影響を回避できる可能性あり
- **デメリット**
 - ・初期投資がかかる
 - ・物理的な拡張性に限界あり
 - ・障害対応の自社負荷が大きい
 - ・止まらない仕組みを自社で構築する必要がある

データセンター(プライベート)



- **メリット**
 - ・物理的なセキュリティが高い
 - ・安定した電源と通信環境
 - ・運用コストの最適化(自社で管理するよりラク)
 - ・災害対策(BCP/DR対策)に強い
- **デメリット**
 - ・月額コストがかかる
 - ・カスタマイズの制限がある
 - ・遠隔地立地による影響がある
 - ・性能コントロールの容易さはクラウドに劣る

クラウド(パブリック)



- **メリット**
 - ・初期コストが圧倒的に低い
 - ・性能コントロールが容易
 - ・高可用性・災害対策が強い
 - ・物理的な機器運用の手間が減る
 - ・最新技術の利用が可能なケースが多い
- **デメリット**
 - ・カスタマイズに大きな制限がある
 - ・データが見知らぬ外部に置かれることへの心理的・規制的ハードル
 - ・外資クラウド事業者依存のリスク(為替レートによる月額費用の比較的大きな変動可能性あり)

当社は3ヶ所全てのシステム構築ができるため

顧客の特長に併せたプライベートとパブリックを組み合わせたハイブリッドなシステム構築が可能です

基幹システム構築で当社が選ばれる理由

知識と経験の積み重ねで、お客様にとって最適なシステムの構築ができる会社です

構築の実績数と歴史で積み上げたノウハウ

精鋭のエンジニアチームで年間百数十件以上と数多くのプロジェクトを遂行してきました。確かな技術力と提案力で、お客様に最適なシステムを構築します。

導入実績 過去10年間累計
約 **1,900**件

システムの基盤となる最新インフラ技術の入手と豊かな提案力

当社は独立系で特定メーカーに縛られない立場を堅持し成長を続けています。そのため、優れた製品を開発する国内外問わず複数の一流メーカーとのパートナーシップを築いていく基本姿勢を貫いています。中でもハイブリッドクラウド構築の中心ソフトウェアであるシトリックス社と長年パートナーシップを結んでおり、プライベートクラウドを実現する主要のソフトウェアのサービス群を熟知しています。各社の戦略を理解し、顧客企業にとって最適な選択を行うことを第一に考えています。今後広く一般化するAIエンジン提供企業についても同様です。

CXJ^(※1)
シトリックスマスター
ディストリビューター



CXJパートナープログラム
プラチナ(Platinum)

- **DELL TECHNOLOGIES**
GOLD SOLUTION PROVIDER
- **オラクル**
Oracle Partner
- **マイクロソフト**
Microsoft Partner

顧客業務を知る今や希少なSEの存在と、技術ありきではなくシステム構築前に業務理解から始める文化をもっていること

インフラ領域全般を一貫して構築可能な体制に加え、顧客業務を深く理解するアプリケーション開発エンジニアを擁する、希少な独立系インフラSIerです。

※1 株式会社CXJは、アセンテック株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松浦 崇)とCloud Software Group, Inc. (本社:米国フロリダ州フォートローダーデール、CEO Tom Krause)間の戦略的パートナー契約に基づき設立された、CitrixおよびNetScaler製品の日本国内での販売・サポートを行うIT企業です。

サイバーセキュリティ

レジリエンス(防御と回復)のバランスが取れたセキュリティ対策で企業の事業継続を支えます

ランサムウェアや標的型攻撃、ビジネスメール詐欺など、サイバー攻撃の多様化・高度化の加速が止まらず日々深刻化しています。昨年、大手企業におけるランサムウェア被害が話題となり、サイバーセキュリティはすべての企業・自治体の事業継続にとって、単なるコストではなく重要な経営課題となりました。こうした状況に対し、正常運用監視から障害復旧までを一貫して支援できる体制の整備が求められています。

自社サービス「サイバー忍法帖®」

当社はサイバー攻撃から企業や自治体システムを守るための“総合的な”セキュリティ対策サービス「サイバー忍法帖®」を提供しています。お客様の規模や業種に応じた最適なセキュリティ対策をご提案。攻撃の予防だけでなく、攻撃を受けた際の被害の最小化と迅速な復旧までを考慮した総合的な対策を提供し、導入から保守まで一貫して対応いたします。



※1 本当に被害にあったのか、その被害の影響はどの程度か、を調べて証拠を集めることです。

スマートファクトリー

工場のスマート化を推進し、日本の製造業の発展を支えます

スマートファクトリーは、高速無線通信、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、などの先端技術を活用し、設備や材料、工程のデータをデジタル化することで、レイアウトフリーな工場ラインと業務生産性を継続的に向上させる工場のことです。日本の製造業は、少子化による人材不足やグローバル市場の変化に直面しています。そのため、デジタル技術を活用した業務プロセスの改善と少人数での運用実現へ、そしてAIによる独自生産ノウハウの蓄積と伝承によって生産性を向上させることが急務となっています。当社は、このスマートファクトリー化の一端を担っています。

導入事例: フィルターの専門メーカーが生産拠点を刷新、“フルWi-Fi化”を実現

現場のネットワークが古く、複雑化しており使いづらい
どうにかしたい!



生産現場全体を「フルWi-Fi化」することで解決

- 有線接続から無線LAN接続へ変更
線がないため拠点のどこにいてもネットワークへの接続が可能に。
- ネットワーク統合管理ツールを導入
ネットワーク全体を可視化。障害発生時に迅速な対応ができる体制に。
- Wi-Fi 6 対応アクセスポイントを採用
従来のネットワークに比べ通信速度が向上し、通信環境が安定。

使いやすく
安全性の高い環境を
提案し構築します



エモーショナルシステム事業


MetaWalkers
コンテンツ一覧


MetaWalkers

※これはイメージです。

© 2026 PBsystems, Inc.

MetaWalkers®

「誰もが簡単にVR体験を共有しあえる進化系シアター」

360度スクリーンに3D映像を切れ目なく表示する特許をもとにした、没入感の高いVR空間を生み出す MetaWalkers®(※1)の製造販売・レンタル・イベント運営等サービスの提供を行っています。

MetaWalkers®の利用分野

- 3DCGによる短編アニメーションを上映する装置として遊園地やアミューズメント施設への販売
- 実写360度映像上映装置として、お祭りや花火大会
- 文化歴史建造物や風景
- 事故・災害状況の映像再現による安全対策
- 工場見学・各種教育への活用
- 大学等研究機関のスポーツ科学研究/分析

(※1)2023年1月16日より、製品名を4DOHからMetaWalkers®に変更しました。
MetaWalkers®の名称及びロゴは株式会社ピー・ビーシステムの登録商標です。

MetaWalkers®

全周360度スクリーン
圧倒的な情報量!!



全周3D映像で
あたかもその場に
いるような感覚!!

エアガン、サラウンド音響
床の振動
最高の臨場感!!

多人数で視聴可能
感動を共有!!

建物や風景、3Dキャラなど空間にあるものが観客のすぐ横を通り後方へ
その空間を移動しているような感覚!!

標準の椅子を取り外せば、車いすの方でも体験可能に!!

MetaAnywhere®

「価格破壊的没入感」

MetaWalkers®の技術とノウハウを元に進化した、あらゆる場所に映像体験を届ける、新しい空間ソリューション。

既存設備をそのまま利用したスペースをVR空間に変貌させる、高品質映像投影サービスです。



MetaWalkers®との違い

- 筐体にとらわれないため、視聴人数の調整が可能
- 上映場所の形状に応じたカスタマイズが可能
- 顧客の予算やニーズに合わせた映像演出の提案が可能
- 会議室やオフィスなどの狭小展示空間であっても、アミューズメント空間や水中など別世界に変化させることが可能

MetaAnywhere™のユースケース

独自のプロジェクションマッピング技術と、軽量構成の追求によって設置難易度の高い施設・環境でも展開可能

- エンタメ施設
- 商業施設
- 観光名所
- 科学館
- 道の駅
- 大学エントランス
- 狭小展示空間
- 駅ナカ

企業・自治体向けメタバース

企業、自治体向けに役に立つ新しいコミュニケーション空間であるメタバースを構築します

メタバースとは、インターネットを利用した3次元の仮想空間のことです。現実世界と同じような空間の中で、利用者が自分の分身である「アバター」を使って空間内を探索したり、他の利用者とのコミュニケーションをとることができます。当社が構築するメタバースは、快適な速度と操作性により、リアルタイムにスムーズな体験が可能であることが特長です。

メタバースの利用分野

- 災害体験・防災訓練などの防災分野
- 企業イベントや、採用を目的とした学生向けセミナー等、情報発信やコミュニケーションツールとして活用
- 企業向けのメンタルトレーニングや不登校支援などのメンタルヘルスケア分野
- 対話形式での製品紹介ツールとして活用



エモーショナルシステム事業 最近のPR実績

プレスリリース

各位



アセンテック株式会社共催・株式会社CXJ後援 当社メタバース会場での自治体関係者様向けオンラインセミナー開催のお知らせ

～令和7年3月版情報セキュリティポリシーガイドライン対応～
セキュアなデジタルワーク環境を実現するメタバースセミナー

株式会社ビー・ピーシステムズ（本社：福岡市、代表取締役社長：黒田和久、証券コード4447、以下「当社」）は、アセンテック株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松浦康、証券コード3565、以下「アセンテック」）との共催、株式会社CXJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ROSSY CELIO DAYMAN、以下「CXJ」）の後援により、自治体関係者様向けオンラインセミナー「セキュアな業務環境整備の課題と令和7年3月版情報セキュリティポリシーガイドラインへの対応 ～低コスト・短期間導入を両立する画面転送方式による安全なデジタルワーク環境の実現～」を2025年6月18日（水）に当社メタバース会場にて開催いたします。

本セミナーは、情報セキュリティ強化と業務効率化の両立を目指す自治体の情報システムご担当者様、DX推進ご担当者様にとって、具体的なヒントを得られる貴重な機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



【本セミナーのポイント】

- 令和7年3月版の最新ガイドラインに準拠したセキュリティ対策の具体策がわかる
- 既存資産を活かし、コストを抑えて短期間でセキュリティを強化する方法を学ぶ
- 端末にデータを残さない「画面転送方式」の仕組みとメリットを理解できる
- 自治体の導入事例を基にした、実践的なアプローチを知ることができる

アセンテック株式会社共催・株式会社CXJ後援
当社メタバース会場での自治体関係者様向け
オンラインセミナー開催のお知らせ
(2025年6月16日 PR情報)

プレスリリース

各位



鵜沼海岸まつりでのMetaAnywhere™採用と実施状況のお知らせ

株式会社ビー・ピーシステムズ（福岡県福岡市、代表取締役社長：黒田和久、証券コード4447、以下「当社」）は、鵜沼海岸まつり実行委員会（神奈川県藤沢市、委員長：島根政明）が開催した「鵜沼海岸まつり」（2025年8月16日（土））に、当社のMetaAnywhere™（3D 100インチスクリーンタイプ）が採用されましたのでお知らせします。MetaAnywhere™は、お客様の様々な設置条件（面積・高さ・形状など）に短期間で対応可能な製品です。



今年で第3回目を迎える「鵜沼海岸まつり」は、8月16日（土）に開催され、屋台や縁日などたくさんのお店が出店し、盆踊りやのど自慢、クイズ大会、江戸薬プラレールなど盛りだくさんで、暑い夏を乗り切るための楽しいお祭りでした。この日は、ファミリー層を中心に、多くのお客様でにぎわいました。当社は、今回のイベント用として、設置が簡単ならぬ、100インチの大画面で3Dコンテンツが楽しめるMetaAnywhere™を製作し、ファミリー向けの2つの作品（「恐竜映画」、「ギャラクシーーツアーズ」）を上映いたしました。観覧した370名の来場者にはとても好評で、主催者からは、盛り上げイベントとして高い評価をいただきました。

鵜沼海岸まつり Web サイト
URL: <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kuge-c/event/kuge-kaiganmatsuri.html>
当社は今回の採用を機に、お客様の様々な設置条件（面積・高さ・形状など）に短期間で対応可能なMetaAnywhere™を幅広いジャンルに採用されるよう取り組んでまいります。

鵜沼海岸まつりでのMetaAnywhere@採用
と実施状況のお知らせ
(2025年9月9日 PR情報)

プレスリリース

各位



東京都市長会（防災担当者の交流プログラム）での MetaWalkers® 採用と実施状況のお知らせ

株式会社ビー・ピーシステムズ（福岡県福岡市、代表取締役社長：黒田和久、証券コード4447、以下「当社」）は、東京都市長会（事務局：東京都府中市、会長：加藤育男（福生市長））が開催したワークショップ（2025年8月28日（木））に、当社のMetaWalkers®が採用されましたのでお知らせします。

東京都市長会では、多摩地域の26市が連絡協定を行い、各市の行政の円滑な連携・向上を目指しつつ、地方自治の発展につなげることを目的に、多摩26市の市長が任意に組織する団体です。今回のワークショップは、「多摩地域における行政のデジタル化（防災DX）」の一環として、庁内・市民向けの防災意識醸成の取組を自治体横断で検討し、防災力の強化を図ることを目的に、防災担当者の交流プログラムを実施し、防災知見の向上を図るものです。



当社は、自治体での防災意識向上に向けた取組の可視化として、会議室内に設置したMetaWalkers®による「地震」「豪雨」の疑似体験を皆様と共有していただき、防災VRがいかに防災意識醸成につながるかの検証材料にしたいと考えています。

当社は今回の採用を機に、短時間で設置可能な省スペース型 MetaWalkers® ATOM を全国の防災意識醸成に貢献できる製品としての認知度を上げ、関連市場への販売を強化していく所存です。

東京都市長会(防災担当者の交流プログラム)でのMetaWalkers@採用と実施状況の
お知らせ
(2025年9月25日 PR情報)

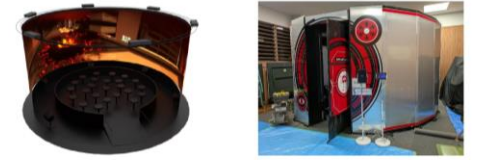
プレスリリース

各位



JFEスチール（福山地区）開催の防災展示会に MetaWalkers®を出展しました

株式会社ビー・ピーシステムズ（福岡県福岡市、代表取締役社長：黒田和久、証券コード4447、以下「当社」）は、JFEスチール株式会社西日本製鉄所（福山地区）（以下「JFEスチール（福山地区）」）が開催する防災展示会（2025年11月6日（木）～11月7日（金））に、当社のMetaWalkers®を展示しましたのでお知らせします。



MetaWalkers®の注力分野として防災市場を開拓中の当社は、災害の疑似体験に最適化したMetaWalkers®を展示しました。展示会に来られた福山地区のお客様に、ビル内火災からの避難や豪雨災害を360度の3D映像と音響・振動に包まれた臨場感あふれるバーチャル空間で体験学習して頂きました。体験者様からは、MetaWalkers®はVRゴーグルを装着する必要がなく、家族やグループなど多人数で災害状況を同時体験できたと、災害時の「もしも」への備えを一層考える特別な体験が出来たと、評価して頂きました。

■JFEスチール（福山地区）防災展示会について
JFEスチール（福山地区）防災展示会は、「～楽しい防災から考える防災へ～自分事として捉えよう」をテーマにしたJFEスチール（福山地区）と地元防災プロジェクトです。これまでのJFEスチール（福山地区）展示会では、防災を楽しく捉えてもらうというテーマでしたが、今年からは防災を真剣に考えて自分事として捉えるということもテーマに実現しています。広島県福山市は自然災害の少ない地域ですが、いざという時に避難の遅れ、体調を崩すなど命に関わり危険があるのが「災害」です。そうした災害に備えるために地元住民、JFEスチール社員、関係・協力会社の従業員、ご家族と一緒に防災を真剣に考える展示会です。

JFEスチール(福山地区)開催の防災展示会に
MetaWalkers@を出展しました
(2025年11月17日 PR情報)

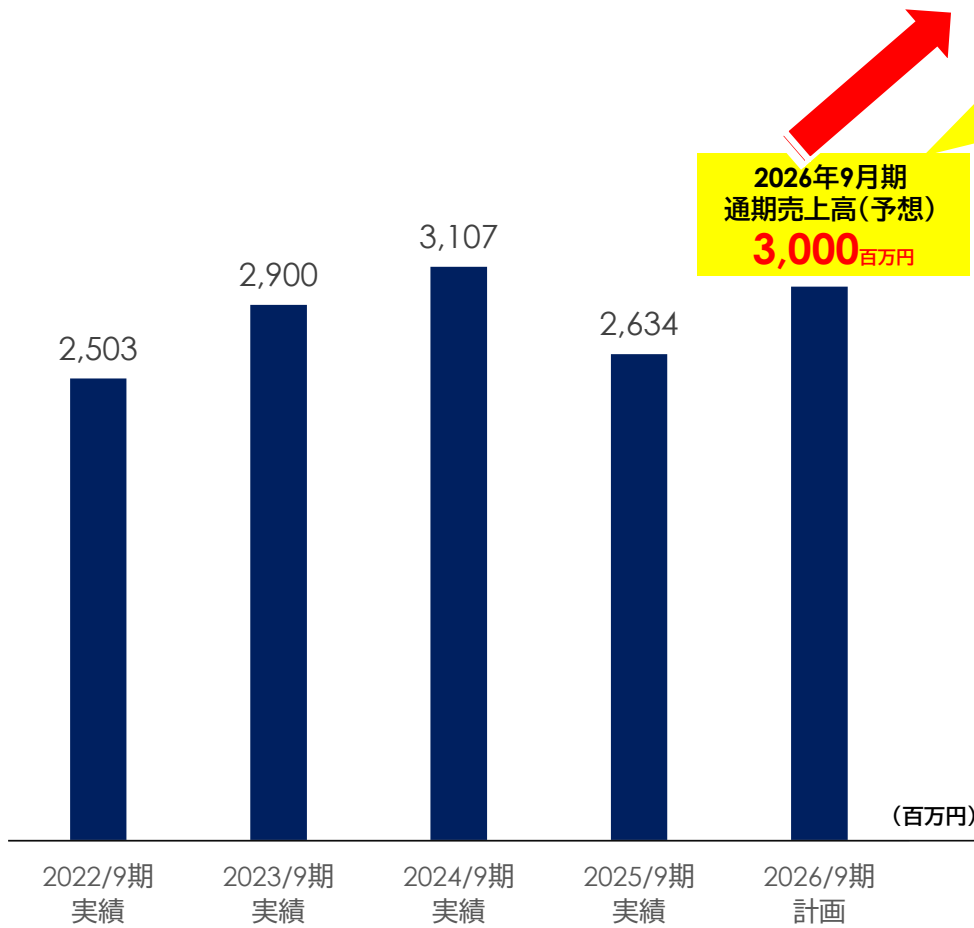


業績と事業計画

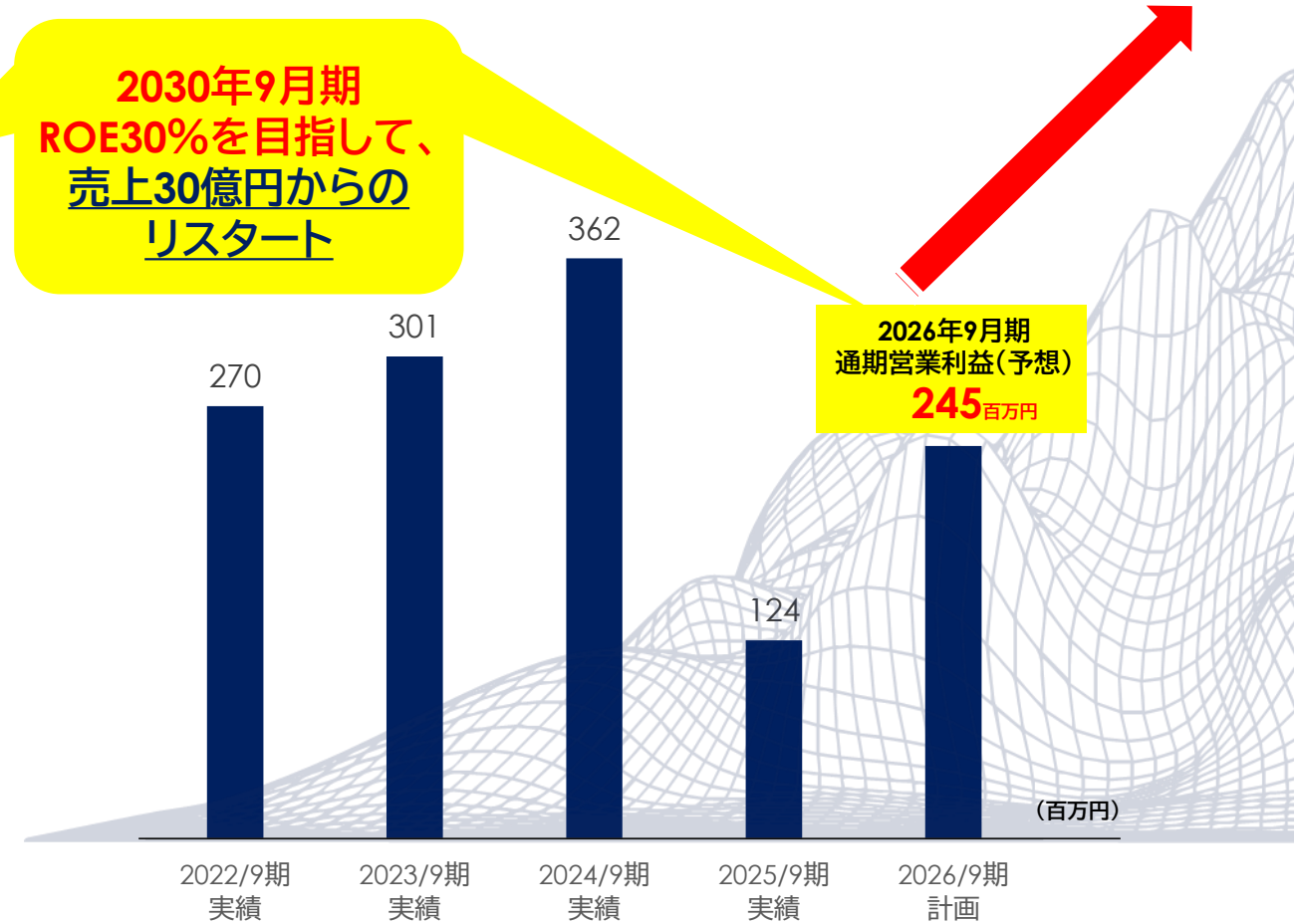


業績推移と今後の計画

売上高の推移と予想



営業利益の推移と予想



2025年9月期の業績と2026年9月期の計画

2025年
9月期

YoY減収減益・最高益更新は6年連続で一旦ストップ

売上高

2,634百万円
前年同期比 -15.2% ↓

営業利益

124百万円
前年同期比 -65.5% ↓

経常利益

127百万円
前年同期比 -64.9% ↓

2026年
9月期

売上高30億円台への復帰へ向けて成長への再スタート

売上高

3,000百万円
前年同期比 +13.9% ↑

営業利益

245百万円
前年同期比 +96.3% ↑

経常利益

251百万円
前年同期比 +97.8% ↑



株主施策



情報発信と株主還元の方針等

株式分割

2020年1月1日と2020年7月1日に株式分割を実行し、流動性の向上及び投資家層の拡大を図っています。

配当

2024年9月期 から配当を実施。

- ・2024年9月期 1株あたり10円
- ・2025年9月期 1株あたり20円
- ・2026年9月期(予想)
1株あたり20～22.5円

2026年9月期より中間配当を実施予定

株主優待

2020年9月期に株主優待制度を導入しました。

2025年9月期の株主優待

- ・ 特製カレンダー1冊
- ・ QUOカード500円分1枚
(100株以上の株主様が対象)

投資環境

投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるため、当社は2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場へ重複上場し、投資家層の更なる拡大を図っています。

自社株買い

2021年3月18日、2023年09月13日、2024年9月12日、2025年5月15日に自己株式の取得を発表し、資本効率の向上を通じた株主の皆様への利益還元、および経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行を図っています。



オリジナルQUOカードの参考イメージ

さいごに

なぜ会社を作り上場したのか

顧客目線ではない同業他社のやり方が許せなかったからです。そうではない会社が必要だと思ったからです。その精神は今も全く変わっておらず、賛同してくれる沢山の人々のおかげでここまで会社が成長し、上場することができ、優秀な地元の学生を複数人採用して一緒に仕事ができるようになりました。

今後どんな企業になりたいか

大学卒業後は東京で就職し、20代後半に家庭の事情で福岡にUターン転職しようとした時に、残念ながら、是非行きたい、と思う会社がなかなか見つからずとても困惑しました。そういう時に、すぐに社名が挙がる九州の有力IT企業になりたいと思っています。

そして、

顧客目線でコンピュータシステムをどう提供していくのかを考られる会社として、未来永劫あり続けたいです。そのために、顧客企業にとってどんな技術を提供するべきか、先を見据えて常に考えています。

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ



〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24
株式会社ピー・ビーシステムズ
経営企画部 IR担当

TEL 092-481-5669

MAIL ir@pbsystems.co.jp

URL <https://www.pbsystems.co.jp>